

【必修領域】平成29年度福島大学教員免許状更新講習講習一覧

平成29年8月2日現在

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
1-A	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 飛田 操(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成29年6月10日(土)	6,000円	200人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
1-B	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授) 住吉 チカ(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L2・L3教室	6時間	平成29年8月18日(金)	6,000円	300人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
1-C	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 木暮 照正(地域創造支援センター准教授)	いわき明星大学 (いわき市)	3号館 3-201 3-202 講義室	6時間	平成29年7月1日(土)	6,000円	200人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
1-D	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 富永 美佐子(人間発達文化学類准教授)	日本大学 工学部 (郡山市)	1号館 111教室 112教室	6時間	平成29年8月10日(木)	6,000円	300人	・筆記用具	無	講義 グループ討論	筆記試験	<参考テキスト> キャリア教育基礎論:正しい理解と実践のために(藤田晃之(著),2014,実業之日本社)
1-E	【必修】教育・子どもを巡る変化と省察	教員としての基礎的な知見として、国の教育政策や世界の教育の動向、子どもの発達に関する脳科学、心理学等の観点からの知識、などに触れるとともに、教育的愛情、倫理観、順法精神など教員として必須の事項を再確認し、子ども観、教育観等についての省察を行うことの重要性について考える。また、子どもの生活の変化をふまえた教育上の課題について考察を行う。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 高谷 理恵子(人間発達文化学類教授)	会津大学 (会津若松市)	中講義室 M9教室 M10教室	6時間	平成29年7月22日(土)	6,000円	160人	・筆記用具	無	講義 グループ討論	筆記試験	特になし

【選択必修領域】平成29年度福島大学教員免許状更新講習一覧

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
								学校種	免許職種・教科等	職務経験等							
2-A	【選択必修】教育政策・危機管理	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。 また、学校の教育活動全般における危機管理上の課題を捉え、安全確保にかかわる今日の状況と危機管理の在り方について、自己の学校の実態を基に省察し、新たな視点を学ぶ。	阿内 春生(人間発達文化学類准教授) 丹野 学(総合教育研究センター特任教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟特別教室	6時間	平成29年8月19日(土)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義 グループ討議	筆記試験	特になし
2-B	【選択必修】教育政策・危機管理	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。 また、学校の教育活動全般における危機管理上の課題を捉え、安全確保にかかわる今日の状況と危機管理の在り方について、自己の学校の実態を基に省察し、新たな視点を学ぶ。	阿内 春生(人間発達文化学類准教授) 丹野 学(総合教育研究センター特任教授)	日本大学工学部(郡山市)	1号館 111教室	6時間	平成29年8月9日(水)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	150人	・筆記用具	無	講義 グループ討議	筆記試験	特になし
2-C	【選択必修】教育政策・組織的対応	学校教育関連法令の改正動向や審議会の経過、子どもの貧困などの教育をめぐる社会問題について解説・検討する。その上で、現職教員としての教育政策への対応について考えていく。 また、学校組織の一員として、学校内での協力に加えて、保護者や地域社会など学校外と連携協力した学校の各種課題に対する組織的対応について、自己の経験を省察し、その在り方を学ぶ。	阿内 春生(人間発達文化学類准教授) 丹野 学(総合教育研究センター特任教授)	いわき明星大学(いわき市)	3号館 3-201 3-202 講義室	6時間	平成29年7月2日(日)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	200人	・筆記用具	無	講義 グループ討議	筆記試験	特になし
2-D	【選択必修】学校を巡る変化・組織的対応	学校を巡る近年の状況の変化について考察を行う。PISAなど学力の国際比較に見られる傾向を糸口に、児童・生徒の学習意欲の問題、保護者の意識の変化、社会の学校観などを扱う。子どもの貧困の問題についても扱う。 また、学校組織の一員として、学校内での協力に加えて、保護者や地域社会など学校外と連携協力した学校の各種課題に対する組織的対応について、自己の経験を省察し、その在り方を学ぶ。	谷 雅泰(人間発達文化学類教授) 工藤 博(元総合教育研究センター特任教授)	会津大学(会津若松市)	中講義室 M9教室	6時間	平成29年7月23日(日)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	160人	・筆記用具	無	講義 グループ討議	筆記試験	特になし
2-E	【選択必修】カリキュラムマネジメント	学校・地域の特色や教科横断的な視点などから教育活動の改善を支える教育課程の編成、実施、評価及び改善の一連の取組について、その目的や先進的な取り組みを基に理解を深める。さらに自己の課題意識から参加者同士議論を深め、自己実践、学校における具体的な取り組みに生かすことを目指す。	宗形 潤子(総合教育研究センター准教授) 佐々木 信晴(福島市立第三小学校教諭) (講師が追加されました)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟特別教室	6時間	平成29年8月23日(水)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	60人	・筆記用具	無	講義 グループ討議	筆記試験	特になし
2-F	【選択必修】アクティブラーニング	アクティブラーニングは、日本の小学校や中学校等で意欲的に取り組まれてきた授業実践の延長上にあります。アクティブラーニングに関する最近の議論を紹介しつつ、今までの授業研究による知見を踏まえ、「主体的、対話的、深い学び」を実現するためには何が求められるかについて考えを深めていきます。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟特別教室	6時間	平成29年6月11日(日)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	60人	・筆記用具	無	講義 グループ討議	筆記試験	特になし

講習 番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講 人数	事前 準備物	事前購入 テキスト の有無	講習の 開講形態	試験の方法	その他 (事前に知ってお いてほしい事項、参考 テキスト等)
								学校種	免許職種、 教科等	職務経験等							
2-G	【選択必修】教育相談(いじめ及び不登校への対応を含む。)	学校現場の教育相談のありかたについて論じる。前半は、不登校はもとより、発達障害、非行、いじめなど事例を通して相談の理論と実際、留意点を詳述する。特に、非行問題との関連を中心に、保護者への対応について事例に基づいて実践手法を学ぶ(生島)。後半は相談面接の基礎、SC活用を含めたチーム支援、いじめ・不登校への対応、効果的な別室登校支援等について検討する。(青木)	生島 浩(人間発達文化学類教授) 青木 真理(総合教育研究センター教授)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成29年7月15日(土)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	150人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	〈参考テキスト〉 ・生島浩『非行臨床 における家族支援』 (遠見書房、2016) ・『現場で役立つス クールカウンセリ ングの実践』(所収、創 元社、2012)
2-H	【選択必修】進路指導及びキャリア教育	学校教育における進路指導を核としたキャリア教育の意義とその役割について、職業発達心理学の視点から検討する。進路選択・キャリア発達の理論、キャリア教育に関する研究動向、今日のキャリア教育の動向などを取り上げる。学校教育におけるキャリア教育の具体的な展開については、現場の諸課題との関連を踏まえながらその在り方を考えてみたい。	五十嵐 敦(総合教育研究センター教授)	日本大学 工学部 (郡山市)	1号館 112教室	6時間	平成29年8月9日(水)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	150人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
2-I	【選択必修】家庭支援に対応する生活指導研修講座	経済的困窮やネグレクトのある家庭、発達障害や学校不応、非行問題などに対する学校での支援チームのあり方、学外の児童福祉、保健福祉、医療、警察等の関係機関との連携などをめぐる、スクールソーシャルワークという新しい視点から問題の解決や軽減をはかる実践について、演習を取り入れて講義する。なお、演習では、相談援助の技法やチーム会議の進め方、子ども理解の方法、関係機関との連携、アセスメント技法等について深めます。	鈴木 庸裕(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	総合教育 研究セン ター棟 特別教室	6時間	平成29年8月10日(木)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人	・筆記用具	鈴木庸裕 他編著 『教師の ための ワーク ブック・子 どもが笑 顔になる スクール ソーシャル ワーク』 かもがわ 出版、 1944円 (税込み)	講義 グループ討 議	筆記試験	・試験時の持込み可 ※注:7/22開催の「45【選択】家庭支援に対応する生活指導研修講座」と同一内容になります
2-J	【選択必修】学び合う道徳授業の探究	1.「考え、議論する」道徳科への転換の趣旨を解説する。2. インテグレイティブ・シンキングによる道徳授業のあり方について解説する。3. 西川純氏が提唱する『学び合い』の基本的な考え方について講義し、小学校及び中学校の道徳授業の事例を参照して、教師の語りと課題設定、教師の立ち振る舞い、評価等について講義するとともに、受講者同士で議論する。	松下 行則(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	総合教育 研究セン ター棟 特別教室	6時間	平成29年6月17日(土)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	50人	・筆記用具	西川純・ 松下行則 編著『アク ティブ・ ラーニン グを実現 する！ 『学び合 い』道徳 授業プラ ン』明治 図書	講義とワー クショップの 併用	筆記試験	・アクティブ・ラーニングについて文科省がどう考えているかを理解していただくこと ※注:7/15開催の「44【選択】学び合う道徳授業の探究」と同一内容になります
2-K	【選択必修】小学校英語セミナー	小学校外国語活動の実施にあたり、必要とされる英語教育の理論的知識を理解し、実践(授業のデザイン、実施、反省の三位一体)としていける素地を養う。特に心理言語学的視点から第二言語習得の特徴を探るとともに、外国語活動の指導上の創意工夫として「Hi, friends!」を中心に講義していく。	佐久間 康之(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年6月11日(日)	小学校 中学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし

講習 番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	主な受講対象者			受講料	受講 人数	事前 準備物	事前購入 テキスト の有無	講習の 開講形態	試験の方法	その他 (事前に知ってお いてほしい事項、参考 テキスト等)
								学校種	免許職種、 教科等	職務経験等							
2-L	【選択必修】国際理解と異文化理解教育	本セミナーでは「異文化理解の基礎と異文化体験のアクティビティ」と「異文化交流と文学・芸術」を扱う。「異文化理解の基礎と異文化体験のアクティビティ」では、異文化理解に関わる基本的な概念について講義を行い、その上で異文化理解教育に活用できるような異文化体験アクティビティの実践を行う。「異文化交流と文学・芸術」では、文学・芸術上で異文化交流がどのように表象されているかを考察し、実践に活かす方法を模索する。	高木 修一(人間発達文化学類准教授) 高橋 優(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M3教室	6時間	平成29年7月15日(土)	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	特定しない	特定しない	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義と実習	筆記試験	試験時は当日配布した資料のみ持込可能
2-M	【選択必修】情報科学アップデート	情報科学・工学の分野で、比較的变化が早く、かつ中学校・高等学校における教育内容に関連した領域の知識をアップデートできる内容の講義をおこなう。テーマは、著作権など知的所有権の知識および個人情報やプライバシー問題の中での位置づけについて講義する。また情報ネットワークの基礎および最新の情報セキュリティの状況及び認証技術の基礎と応用について講義する。	神長裕明(共生システム理工学類教授) 篠田伸夫(共生システム理工学類教授) 中村勝一(共生システム理工学類准教授)	福島大学 (福島市)	共生システム理工学類後援募金記念棟 会議室	6時間	平成29年6月24日(土)	小学校 中学校 高等学校	情報・技術・工業・ 数学・理科	特定しない	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし

【選択領域】平成29年度福島大学教員免許状更新講習一覧

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
3	【選択】幼児の表現を支える教材の考え方	現代の社会環境の変化により、乳幼児の心身の発達は危機にさらされている。そこで、その実態を踏まえつつ、さまざまな音楽教材や遊びを紹介しながら、教材研究の方法や、幼児の発達にふさわしい教材の展開などを考える。	白石 昌子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 音楽リズム実習室	6時間	平成29年7月31日(月)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	30人	・筆記用具 ・動きやすい服装	無	講義・実技	筆記試験	試験時の持ち込みは不可
4	【選択】幼児の発達を通して保育を考える	幼稚園における各年齢段階での子どもの姿を確認しながら、子ども理解を深める。また、保育において気になる子を例にとりながら、子どもの遊びや行為を解釈しながら、子どもの経験の意味について考える。	原野 明子(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 特別教室	6時間	平成29年8月3日(木)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	40人	・筆記用具	無	講義・グループワーク	筆記試験	特になし
5	【選択】幼児期の学びをとらえる:子どもの見方を変えて保育を楽しむ	幼児期の「学び」や保育の自己評価・子ども評価についての最新の研究成果を踏まえ、幼児期に育てるべき「学び」の瞬間をとらえる方法を身につけることを目的とする。そのために、近年注目されているニュージーランドの「学びの物語」を参考にし、子どもの生き生きとした学びのプロセスをとらえるための、誰でもやれる観察と記録の進め方を説明する。	大宮 勇雄(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟4階 音楽リズム実習室	6時間	日程変更となりました 平成29年10月1日(日) 平成29年9月30日	教諭	幼稚園教諭	6,000円	40人	・筆記用具	無	講義とワークショップ	筆記試験	〈参考テキスト〉 大宮勇雄『学びの物語の保育実践』(ひとなる書房2010)、福島大学附属幼稚園ほか『子どもの心が見えてきた』(ひとなる書房2011)
6	【選択】特別支援教育の推進と充実をめざしてA	本講義では、学校や社会における障害受容および障害理解について学ぶことを目的とする。具体的には、知的障害や発達障害に関する最近の動向、障害の定義、社会における障害観の形成と変容、インクルーシブ教育の現状と課題について理解を深める。	高橋 純一(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	L講義棟 L2教室	6時間	平成29年8月9日(水)	教諭 養護教諭	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
7	【選択】特別支援教育の推進と充実をめざしてB	自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠如多動性障害(ADHD)の症状、診断、治療、合併症、指導の留意点について、医師の立場から解説する。解説は、基礎的な内容が中心となる予定である。薬物療法については詳しく説明する予定である。	(講師が変更になりました) 安村 明(東京大学 医学部附属病院 精神神経科 特任研究員) 内田 千代子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	L講義棟 L2教室	6時間	平成29年8月10日(木)	教諭 養護教諭	小・中・高等学校教諭、養護教諭、(特別支援学校教諭)	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	試験時の持ち込み可

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
8	【選択】特別支援教育の推進と充実をめざしてC	発達障害や知的障害のある子ども達に対する支援を行っていくのに活用が期待されている応用行動分析の入門となる事項を学ぶ。また、発達障害や知的障害のある子ども達が示す「気になる行動」とその対応法について、応用行動分析の観点から演習形式で考えていく。	鶴巻 正子(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 特別教室	6時間	平成29年8月8日(火)	教諭 養護教諭	幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭、養護教諭	6,000円	50人	・筆記用具	無	演習	筆記試験	特になし
9	【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)	国語科における「主体的」「対話的」、かつ「深い学び」とする授業の在り方を具体的な教材に基づく演習形式で考えます(演習形式が苦手な方は予め受講をご遠慮ください)。「楽しい授業」「国語の力をつける授業」とはどうあるべきか、明日の授業に活かす理論と実践を確認していきます。	佐藤 佐敏(人間発達文化学類教授)	ビッグパレットふくしま(郡山市)	プレゼンテーションルーム	6時間	平成29年8月3日(木)	教諭	小学校教諭、中学校国語科教諭	6,000円	70人	・筆記用具	無	講義、並びに簡単な演習やグループ討議 講師の模擬授業	筆記試験	試験時、資料持ち込み可 (参考テキスト) 佐藤佐敏著『思考力を高める授業』 ※注:8/21福島市開催の【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)と同一内容になります。
10	【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)	国語科における「主体的」「対話的」、かつ「深い学び」とする授業の在り方を具体的な教材に基づく演習形式で考えます(演習形式が苦手な方は予め受講をご遠慮ください)。「楽しい授業」「国語の力をつける授業」とはどうあるべきか、明日の授業に活かす理論と実践を確認していきます。	佐藤 佐敏(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年8月21日(月)	教諭	小学校教諭、中学校国語科教諭	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義、並びに簡単な演習やグループ討議 講師の模擬授業	筆記試験	試験時、資料持ち込み可 (参考テキスト) 佐藤佐敏著『思考力を高める授業』 ※注:8/3郡山市開催の【選択】国語教育セミナー(小・中学校教員向け)と同一内容になります。
11	【選択】国語セミナー日本語学	日本語学研究の近年の研究成果と方言教材の活用について紹介する。前半は東北・福島方言の事例を中心に、近年の調査データにもとづく方言研究の学術的、理論的側面について半沢が概説する。後半は小学校、中学校教科書の方言教材等も適宜用いながら小林が実践的な内容を扱う。	半沢 康(人間発達文化学類教授) 小林 初夫(上越教育大学教育学部非常勤講師) 本多 真史(奥羽大学歯学部専任講師) (講師が追加されました)	福島大学(福島市)	人間発達文化学類棟2階 201演習室	6時間	平成29年9月17日(日)	教諭	小学校および中学校国語科教員向け(高校国語科教員も受講可)	6,000円	50人	・筆記用具	無	前半:講義、後半:講義およびワークショップ	筆記試験	(参考テキスト) 『都道府県別全国方言辞典』佐藤亮一編 三省堂
12	【選択】国語セミナー 日本文学(近代文学)	本講習は、現代文における詩の教材の扱われ方について受講者と一緒に考えていくものである。教材研究において比較的「苦手」とされ、また学習者にとっても「わかりにくい」「読めない」と敬遠されてきた詩についてのアプローチの多様性を講義形式で学び、授業の組み立てに活用してもらいたい。文学史の中での詩の多様性と変遷を確認し、詩の多様な方法を知ること、文学教材への多様なアプローチを学ぶ機会にもなるはずである。	高橋 由貴(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年7月30日(日)	教諭	中学校・高等学校国語科教員(小学校教諭も可)	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
13	【選択】高等学校国語講習	高等学校国語科教員を対象として、アクティブラーニングを始めとする授業改善の方略について講義と演習による講習を実施し、生徒の思考力・判断力・表現力の育成に資する。 なお、演習においては、教科書教材をもとにした学習指導案作成と模擬授業を行うとともに、グループによる協議を通して学校現場における実践的な指導力の向上を目指す。	高橋 正人(福島県高等学校PTA連合会事務局長)	福島大学(福島市)	S講義棟 1階 S13教室 M講義棟 1階 M3教室	6時間	平成29年8月10日(木)	教諭	高等学校国語科教諭向け	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義・演習(学習指導案作成・模擬授業・グループ協議)	筆記試験	(参考テキスト) 高等学校学習指導要領解説 国語編(文部科学省)

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
14	【選択】英語研究セミナーA	本セミナーでは「英語理解における記憶の役割と評価」、「英語教育におけるテストの意義とその方法」について講義を行う。「英語理解における記憶の役割と評価」では、言語を理解する際にかかわる記憶の種類とその重要性及びテストにおける評価のあり方について理解を深めることを目指す。「英語教育におけるテストの意義とその方法」では、さまざまなテストの役割とテスト作成から実施後の処理について理解を深めることを目指す。	佐久間 康之(人間発達文化学類教授) 高木 修一(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 4階 S43教室	6時間	平成29年8月1日(火)	教諭	中学校・高等学校英語科教員	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
15	【選択】英語研究セミナーB	英語を中心とした言語研究の成果に基づいて、英語の語彙、意味、構造などに関する事項を取り上げる。言語に対する理解を深めること、コミュニケーション能力を向上させることという英語教育・外国語教育の視点をふまえながら、それぞれの事項に関する知識の習得を目的とする。	朝賀 俊彦(人間発達文化学類教授) 佐藤 元樹(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 4階 S42教室	6時間	平成29年8月3日(木)	教諭	中学校・高等学校英語科教員	6,000円	50人	・筆記用具 ・英和辞書(特に指定はありません。個人または学校で使用しているもの、電子辞書でも可。)	無	講義	筆記試験	特になし
16	【選択】英語研究セミナーC	近代から現代の英米文学および関連する研究について講述し、教師の専門的力量や教授能力の向上に資することを目標とします。英語研究セミナーA・Bと併せて受講することにより、三分野に関する専門的な知見が得られるだけでなく、授業実践についても有益な情報が得られることとなります。	飯嶋 良太(人間発達文化学類准教授) 高田 英和(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 4階 S42教室	6時間	平成29年8月2日(水)	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義、グループ活動等	筆記試験	特になし
17	【選択】小学校社会科セミナー	小学校社会科に関する様々な内容について、近年の社会科教育学や関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように紹介していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。中学校・高校教諭も受講可。	初瀬 敏生(人間発達文化学類教授) 鵜沼 秀雅(人間発達文化学類特任教授)	ビッグパレットふくしま (郡山市)	プレゼンテーションルーム	6時間	平成29年8月2日(水)	教諭	小学校教諭(中学校・高等学校教諭も受講可)	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義を中心とするが、一部グループ討議等を行う	筆記試験	試験では講義中に配付した資料等の持ち込みを可とする ※注:8/20福島市開催「18【選択】小学校社会科セミナー」と同一内容になります
18	【選択】小学校社会科セミナー	小学校社会科に関する様々な内容について、近年の社会科教育学や関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように紹介していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。中学校・高校教諭も受講可。	初瀬 敏生(人間発達文化学類教授) 鵜沼 秀雅(人間発達文化学類特任教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター棟 特別教室	6時間	平成29年8月20日(日)	教諭	小学校教諭(中学校・高等学校教諭も受講可)	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義を中心とするが、一部グループ討議等を行う	筆記試験	試験では講義中に配付した資料等の持ち込みを可とする ※注:8/20郡山市開催の「17【選択】小学校社会科セミナー」と同一内容になります
19	【選択】中学校社会科(公民的分野)・高校公民科教材開発	この講座では、中学校社会科公民分野ならびに高等学校公民科の「現代社会」「倫理」について、それぞれの専門分野における研究を踏まえながら、それらを現場の授業においてどのように教材化していったらよいかを検討していきます。今年度は社会学、倫理学の研究者が教科専門の立場から講義を行い、それらの知見をどう実践に結びつけていったらいいのか考えてもらいます。	小野原 雅夫(人間発達文化学類教授) 牧田 実(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年7月15日(土)	教諭	中学校・高等学校社会科・公民科教諭向け	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義とワークショップ	筆記試験	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
20	【選択】中学校社会科(地理的分野)・高校地歴科地理教材開発	中学校社会科地理的分野並びに高等学校地歴科地理に関する様々な内容について、近年の地理学や社会科教育学、関連諸学の成果を基にした新たな知見を紹介するとともに、それらを授業においてどのように紹介していったら良いのか、できるだけ具体的に解説する。小学校教諭も受講可。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授) 中村 洋介(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年7月16日(日)	教諭	中学校社会科教諭・高等学校地歴科教諭	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義を中心とする	筆記試験	試験では講義中に配付した資料等の持ち込みを可とする
21	【選択】中学校社会科(歴史的分野)・高校地歴科日本史・世界史教材開発	中学校社会科歴史的分野および高等学校地歴科歴史的分野(日本史・世界史)について、近年の歴史学研究成果をもとにした新たな知見を紹介することを通じて、それらを授業においてどのように活用していけば良いのか、教材づくりの視点と方法についても考えていく。	小松 賢司(人間発達文化学類准教授) 鍵和田 賢(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年7月17日(月)	教諭	中学校社会科教諭・高校地歴科教諭(高校公民科教諭を含む)	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
22	【選択】算数教育もう一步先へ	今日、日々の算数・数学の授業において、算数的活動の充実を図り、子どもたちの思考力や判断力、表現力をより一層育むことが期待されている。算数的活動の充実に向けて、子ども観、授業観、算数観を新たに振り返り、今後の教材研究や授業づくりの方向性について考える。小学校算数科の学習内容を中心に、中学校数学科の内容にも触れ、小中連携の視点から講座を構成、展開する。	森本 明(人間発達文化学類教授) 大橋 淳子(会津若松市立一箕小学校校長)	福島大学 (福島市)	L講義棟 L4教室	6時間	平成29年8月11日(金)	教諭	小学校教諭および中高数学科教諭	6,000円	150人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
23	【選択】思考力をはぐくむ算数の授業づくり	全国学力・学習状況調査を生かした算数の授業づくりが求められている。特に、思考力を要する日問題を中心にして算数の授業づくりの方向性について考える。小学校算数科の学習内容を中心に、講座を構成、展開する。	森本 明(人間発達文化学類教授) 大橋 淳子(会津若松市立一箕小学校校長)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年11月25日(土)	教諭	小学校教諭および中高数学科教諭	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
24	【選択】有理数と無理数	有理数と無理数について講義を行い、数に関する理解を深めることを目標とする。歴史的な事実を踏まえつつ、無理性の判定法、近似の理論、計算アルゴリズムについて紹介する。	相原 義弘(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 2階 S21教室	6時間	平成29年6月17日(土)	教諭	中学校・高等学校数学科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
25	【選択】現代数学の技法	複数のテーマを通して現代数学のアイデアや手法に触れ、数学とはいかなる学問であるか、改めて検討する。また、身の周りの様々な図形を取り上げ、それらに潜む数理的性質について紹介する。主な内容:無限と実数 / dx の解釈 / 身の周りの図形 / 連続性とトポロジー	中田 文憲(人間発達文化学類准教授)	福島大学 (福島市)	S講義棟 1階 S14教室	6時間	平成29年8月10日(木)	教諭	中学校・高等学校数学科教員	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	試験時の持ち込み:可

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
26	【選択】学習内容を学校種内部で完成させる教育(算数・数学を対象に)	2011年に東日本大震災が発生し、福島県では小・中学校のその時期における学習機会の獲得を困難にした。そのような時期の学習内容を補填するために、小学校6年間の学習を振り返り、6年生の眼で適切な学習内容の統合化を図る具体例を紹介。中学校では、意味理解より形式的な処理がより必要となるため、実感できるモデルが紹介されていないことについて修復。また、引き算を求残から求差を軸に再構築するなど、義務教育9年間、さらに高校3年間の統合化の方向性と具体例を示す。	栗原 秀幸(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	M講義棟1階M1教室	6時間	平成29年9月30日(土)	教諭	小学校教員、中・高等学校数学科教員	6,000円	30人	・筆記用具 ・ハサミ	無	講義	筆記試験	特になし
27	【選択】小学校理科セミナー	小学校において、平成32年から全面実施される次期学習指導要領では「アクティブ・ラーニング」の視点から学習過程を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現することを求めています。本講習では、小学校理科における特徴的な見方・考え方に焦点を当て、「アクティブ・ラーニング」を実現するためのポイントを整理するとともに、必要となる教材・ICT活用の事例を検討する中で、教室で実現する方法を探っていきます。	水澤 玲子(人間発達文化学類准教授) 平中 野崎 宏典(人間発達文化学類准教授) 村上 正義(人間発達文化学類特任教授) (講師が追加になりました)	福島大学(福島市)	M講義棟1階M3教室	6時間	平成29年7月30日(日)	教諭	小学校教諭、中学校理科教諭	6,000円	72人	・筆記用具	無	講義、グループ討議、および実習	筆記試験	特になし
28	【選択】再生可能エネルギーをいかに伝えるか	東日本大震災以降、再生可能エネルギーに対する注目度が高まっている。再生可能エネルギー発電を中心に、発電原理・メリット・デメリット・規模や稼働率・導入推進施策・福島県や県内市町村のビジョンなどを解説する。再生可能エネルギーは教科の枠を越えて総合的に捉えることが重要である。理科(エネルギーについて)や社会(地域の資源・新しい産業)など各教科で取り上げる場合や、環境学習や課外活動で取り上げる場合などで、参考にさせていただきたい。	佐藤 理夫(共生システム理工学類教授)	福島大学(福島市)	L講義棟L4教室 L1教室	6時間	平成29年8月23日(水)	教諭	小学校・中学校・高等学校教員(科目問わず)	6,000円	150人	・筆記用具	無	講義・グループ討議	筆記試験	特になし
29	【選択】放射線の物理	放射線に関わる物理的内容についての講習を行う。放射線の発生メカニズムおよび放射線量を表す単位などについて確認した後、放射線を測定するための計測器の原理およびデータの読み方を学ぶ。また実際に調査機関で用いられている食物放射線測定器やGe検出器による実習を行う。福島における放射線教育の在り方を理科教員として自ら考えられる力を養うことを目的とする。	山口 克彦(共生システム理工学類教授)	福島大学(福島市)	共生システム理工学類研究実験棟3階基礎物理学実験室	6時間	平成29年7月30日(日)	教諭	中学校・高等学校理科教員	6,000円	20人	・筆記用具	無	講義・実習	筆記試験	高校物理にある放射線の単元を理解しておいてもらえるとよい。
30	【選択】インターネットを活用した教材作成～気象データを用いた気象教材の作成ワークショップ～	インターネット等で公開されている様々なデータを素材に、より効果的な教材を作成できることが期待できる。本講座では、teiten2000プロジェクト等で公開されているデータを活用し、学習指導要領(理科)で述べられている気象観測の内容に即した教材作成を例に、ワークショップ形式で開講する。ワード、エクセル、パワーポイントの少なくともいずれか1つを用いて教材・教案を作成するので、日常的に使えることが望ましい。	篠田 伸夫(共生システム理工学類教授) 渡部 昌邦(南相馬市立石神中学校教頭) 渡邊 景子(東京女子体育大学講師)	福島大学(福島市)	共生システム理工学類研究実験棟2階コンピューター実習室	6時間	平成29年8月11日(金)	教諭	小学校教諭・中学校高校理科教諭・中学校技術科教諭・高校情報科教諭	6,000円	40人	・筆記用具	無	ワークショップ	筆記試験およびワークショップ成果物	http://www.teiten2000.jp/ を一通り閲覧しておいてください。また、ワード、エクセル、パワーポイントの少なくともいずれか1つを用いて教材・教案を作成するので、使用するアプリケーションについては、日常的な作業に使えるようになってきていること。学習指導要領・解説等、参考資料は各自持参してください。

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
31	【選択】小学校音楽教育の理論と実践	理論的には音楽科教育の歴史と思想・哲学、音楽科カリキュラム論、実践的にはボディ・パーカッションやサウンド・エデュケーション、即興等を扱い、また日本との比較対象として北欧の音楽教育やコミュニティ音楽療法を取り上げることで、今後の小学校音楽教育の在り方について総合的に考査する。	杉田 政夫(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	音楽棟 音楽講義室	6時間	平成29年11月26日(日)	教諭	小学校教諭向け	6,000円	40人	・筆記用具	無	講義・実技・グループ活動	筆記試験	特になし
32	【選択】音楽科における器楽の理解と指導法「弦楽器の奏法と指導」	本講座においては、近年の多様化する教科指導内容や教員の専門的知識・技能習得への要請に対応し、弦楽器を中心とした器楽領域における理解と指導法の検討・講義・演習をおこなう。	金谷 昌治(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	音楽棟 合奏室	6時間	平成29年11月23日(木)	教諭	小学校教諭および中学校・高等学校音楽科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義および実習	実技考査	ヴァイオリンの実技実習を含む
33	【選択】中高音楽科における声楽の実践と指導法	音楽科における声楽の実践とその指導法とを、中・高の教科書に記載された教材に則して学習する。学習内容は1)声楽実技(含、発声法)、2)声楽曲の弾き歌い、3)声楽曲の鑑賞(教材の紹介と鑑賞法の提案)とする。随時指導法の提案を行うと同時に参加者によるディスカッションと意見交換場にもしたいので、日頃疑問に思うことなどを積極的に発表することが望ましい。	今尾 滋(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	音楽棟 声楽実習室	6時間	平成29年6月24日(土)	教諭	中学校・高等学校音楽科教諭向け	6,000円	30人	・筆記用具	無	実技・グループレッスン	実技考査	課題曲は5月下旬頃に発表する。平成29年度の福島県の教員採用試験から何曲かは選択する予定である。
34	【選択】西洋音楽における編曲の歴史と実践	本講習では、編曲の歴史をたどりそれぞれの時代に施された意義について考察します。アレンジメント、トランスクリプション、リコンポジション等編曲の方法によって呼称が異なっていることを知り、編曲の方法を分析することで編曲についての理解が深まり教育現場での実践にも役立ちます。編曲の歴史や実際を考察したのち、簡単な編曲にも取り組みます。	横島 浩(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	音楽棟 音楽講義室	6時間	平成29年7月23日(日)	教諭	中学校・高等学校音楽科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	無	前半:講義 後半:実習	筆記試験	特になし
35	【選択】小学校における造形教育の意義と実践の展開	前半ではレゾエミリア市における造形教育を中心とした教育活動の紹介と分析を行い、併せて授業実践例を解説しながら指導事項について理解を深める。後半では小学校における彫刻的表現にかかわる内容を、学習指導要領を確認しつつ教材開発し、演習を織り交ぜながら理解をさらに深める。	新井 浩(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	美術棟 デザイン実習室 M3教室	6時間	平成29年7月8日(土)	教諭	小学校教諭向け	6,000円	50人	・筆記用具 ・エプロンや前掛け ・ハンドタオル	無	講義(一部演習)	筆記試験	試験時、テキスト・資料参照可
36	【選択】絵やデザイン(映像メディア含)などの平面表現についての指導と評価のあり方	今日の中学校・高等学校における美術教育の役割を理解し、「絵画」の授業づくりの実際を学ぶ。主に「絵画(映像メディア表現を含む)」の表現、鑑賞における指導内容や教員の専門的知識の習熟を図る。	加藤 奈保子(人間発達文化学類准教授) 渡邊 晃一(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟 特別教室	6時間	平成29年7月23日(日)	教諭	中学校・高等学校美術科教諭	6,000円	50人	・筆記用具 ・鉛筆(3B) ・練り消しゴム	無	講義	筆記試験	(参考テキスト)『絵画の教科書』日本文教出版

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前においてほしい事項、参考テキスト等)
37	【選択】彫刻や工芸などの立体表現についての指導と評価のあり方	学習指導要領(美術科)の内容を確認しながら、主体的に取り組むことが出来、感性を働かせ、用いられる材料との対話を通して表現の工夫が出来る題材づくり、授業づくりを検討していく。 具体的には、小～高校までの年齢に対応し、集団制作にも発展し得るカラータイトルの教材研究を通し、受講者の新たなデザイン性の習得を目指す。また、粘土による教材研究では、新たな題材を探求し、受講者同士の発表や質疑によって理解を深める。	片野 一(人間発達文化学類特任教授) 新井 浩(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	美術棟 木材工芸実習室・デザイン実習室	6時間	平成29年6月18日(日)	教諭	中学校・高等学校美術教諭向け	6,000円	50人	・筆記用具 ・エプロンや前掛け ・ハンドタオル	無	講義および実技	筆記試験	試験時:テキスト・資料参照可
38	【選択】体育科教育の最新理論と教育内容(小学校教諭向け)	小学校における体育科の役割に対する深い理解を促すとともに、体育の授業づくりに役立つことができる最新の体育科教育に関する理論と実践の紹介及び解説を行う。それらの知見をもとに、これまでの授業実践の振り返りを行い、授業改善に向けた課題の明確化を図る。	菅家 礼子(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター棟 特別教室	6時間	平成29年8月7日(月)	教諭	小学校教諭	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義+実習	筆記試験	[事前]に知っておいて欲しい事項]小学校学習指導要領体育科の目標&内容について
39	【選択】体育科教育の最新理論と教育内容	保健体育科教育に関わる理論と実技を行う。理論面においては、保健体育科教育史—学習指導要領の変遷—、運動生理学、スポーツ医学の3分野について、実技面ではダンス、水泳、バレーボールの3種目について、担当者の専門分野からの視点を中心に、保健体育科教育の実践に関わる知見を解説・指導する。	中村 民雄(人間発達文化学類特任教授) 鈴木 裕美子(人間発達文化学類教授) 小川 宏(人間発達文化学類教授) 安田 俊広(人間発達文化学類教授) 杉浦 弘一(人間発達文化学類准教授) 運沼 哲哉(人間発達文化学類講師)	福島大学 (福島市)	【1日目 集合場所】 第一体育館 詳しくは「受付サービス」の時間割をご覧ください。	18時間	平成29年8月7日(月) 平成29年8月9日(水)	教諭	中学校・高等学校保健体育科教員	18,000円	50人	・筆記用具 ・運動着 ・体育館シューズ ・水着、スイムキャップ、ゴーグル、タオル、濡れてもよいTシャツと短パン	無	講義・実技	筆記試験	試験時の資料持ち込み:可 ※注:開始時間は9:00からです。(受付:8:30~)「時間割」は、受付サービス開設講習検索の添付ファイルでご覧いただけます
40	【選択】小学校家庭科セミナー	本講習内容は、小学校家庭科について、教科の特徴や学習指導上の課題および教科内容の科学・技術を学び、教科認識や学習指導力を高めることを目的として実施する。本年度は、家庭科教育学、被服学、食物学を専門とする教員及び学外からのゲストスピーカーにより学習指導要領の内容もふまえ、講義等を行う。	浜島 京子(人間発達文化学類教授) 千葉 桂子(人間発達文化学類教授) 中村 恵子(人間発達文化学類教授) 齋藤 可奈子(桑折町立盛合小学校教諭) 早川 尚子(福島市立第二小学校教諭)	福島大学 (福島市)	人間発達文化学類棟2階 201演習室	6時間	平成29年9月23日(土)	教諭	小学校教諭向け	6,000円	50人	・筆記用具 ・裁縫道具(縫い針、まち針、ピンクッション、糸切りはさみは必須) ・30cm位のものさし	無	講義、実習	筆記試験	試験時の持ち込み:可
41	【選択】中学校・高校家庭科セミナー(家庭科の実習指導について)	本講習では、中学校・高校の家庭科の授業における調理実習と被服製作実習の指導に関する事項について解説する。内容としては、調理学および被服学に関する実習を中心とする。それらの活動を通して、生徒に実習をさせる場合の留意事項等について理解を深めることをめざす。(なお、本講習は平成30年度には実施しない。)	中村 恵子(人間発達文化学類教授) 千葉 桂子(人間発達文化学類教授)	福島大学 (福島市)	人間発達文化学類棟 1階調理実習室(午前) 2階衣服デザイン実習室(午後)	6時間	平成29年10月7日(土)	教諭	中学校・高等学校家庭科教諭向け	6,000円	18人	・筆記用具 ・裁縫道具一式(小学校で揃える道具でよい) ・エプロン、三角巾、ハンドタオル	無	実習	筆記試験	特になし
42	【選択】中学校・高校家庭科セミナー・住居	本講習は、住居学の教科専門に関する知識を深めることを目的としています。内容は、1.住居と外界の関係に3つの面があり、住まいは気候と密接に関連している、2.高齢化の進行に伴い、住まいのどのような点で改善が考えられるか、3.冬季の生活に用いる暖房機器の特徴と換気の意義、4.照明器具(白熱電球、蛍光灯とLED)の特徴と省エネの考え方、の4つで構成します。	阿部 成治(人間発達文化学類特任教授)	福島大学 (福島市)	人間発達文化学類棟2階 208演習室	6時間	平成29年8月4日(金)	教諭	中学校・高校家庭科教諭	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義	筆記試験:75%、受講中の提出物:25%	筆記試験では資料等の持ち込みを禁止します。

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
43	【選択】中学校・高校家庭科セミナー・食物	この講習は、中学校・高校の食物分野における「食品学及び栄養学」の教科専門に関する知識を深めることを目的として、食品成分の特徴やその機能性、栄養的特質、日本人の食事摂取基準などについて、講義と簡単な実験を行います。	千葉 養伍(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	人間発達文化学類棟2階201演習室	6時間	平成29年9月16日(土)	教諭 栄養教諭	中学校・高校家庭科教諭、 栄養教諭	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義と実験	筆記試験	特になし
44	【選択】学び合う道徳授業の探究	1.「考え、議論する」道徳科への転換の趣旨を解説する。2. インテグレイティブ・シンキングによる道徳授業のあり方について解説する。3. 西川純氏が提唱する『学び合い』の基本的な考え方について講義し、小学校及び中学校の道徳授業の事例を参照して、教師の語りと課題設定、教師の立ち振る舞い、評価等について講義するとともに、受講者同士で議論する。	松下 行則(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟特別教室	6時間	平成29年7月15日(土)	教諭	小学校および 中学校教諭	6,000円	50人	・筆記用具	西川純・松下行則編著『アクティブ・ラーニングを実現する！「学び合い」道徳授業プラン』明治図書	講義とワークショップの併用	筆記試験	アクティブ・ラーニングについて文科省がどう考えているかを理解して頂くこと ※注:6/17開催の「2-1【選択必修】学び合う道徳授業の探究」と同一内容になります
45	【選択】家庭支援に対応する生活指導研修講座	経済的困窮やネグレクトのある家庭、発達障害や学校不適応、非行問題などに対する学校での支援チームのあり方、学外の児童福祉、保健福祉、医療、警察等の関係機関との連携などをめぐる、スクールソーシャルワークという新しい視点から問題の解決や軽減をはかる実践について、演習を取り入れて講義する。なお、演習では、相談援助の技法やチーム会議の進め方、子ども理解の方法、関係機関との連携、アセスメント技法等について深めます。	鈴木 庸裕(人間発達文化学類教授)	福島大学(福島市)	共生システム理工学類後援募金記念棟会議室	6時間	平成29年7月22日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	50人	・筆記用具	鈴木庸裕他編著『教師のためのワークブック・子どもが笑顔になるスクールソーシャルワーク』かもがわ出版、1944円(税込み)	講義・グループ討議	筆記試験	試験時の持ち込み:可 ※注:8/10開催の「2-1【選択必修】家庭支援に対応する生活指導研修講座」と同一内容になります
46	【選択】事実に基づく授業研究と授業改革	これから求められる授業のあり方と授業研究の手法について、近年の動向や研究知見を紹介すると共に、初等教育や中等教育における授業改革の実践事例から具体的事実に関連づけて解説します。さらに、授業の逐語記録や実践記録などの授業の事実の分析や、授業経験の省察を通していかに授業を改善していくか、いかにして教師として学ぶかについて具体的に考えます。	坂本 篤史(人間発達文化学類准教授)	福島大学(福島市)	総合教育研究センター棟特別教室	6時間	平成29年8月22日(火)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
47	【選択】臨床心理学－発達障害とパーソナリティ障害－	近年、発達障害やパーソナリティ障害への関心が教育現場で高まりつつあり、アスペルガー症候群やADHDなどの診断概念が知られるようになった。本講義では、(1)自閉症スペクトラム、ADHD、LDを中心に発達障害の概念、特性について概説し、学校における教育的指導の実践について事例を示す。(渡辺)。(2)パーソナリティ障害の概説および病理の理解の仕方を概説し、生徒や保護者との関わり方を学ぶ。(岸)	渡辺 隆(人間発達文化学類教授) 岸 竜馬(総合教育研究センター准教授)	福島大学(福島市)	L講義棟L4教室	6時間	平成29年6月17日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	6,000円	150人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
48	【選択】持続可能な農山村づくりの日独比較	ドイツの農村地域で進む「再生可能エネルギーによる村づくり」。その取り組みの多くは、人口数百人から数千人規模の小さな自治体によって進められています。地域づくりにおいて、農村地域の小規模自治体の活力が際立っています。 本講習では、2016年度に福島大学行政政策学類生23名が行ったドイツ研修旅行「可能性の国ドイツから学ぶ農村地域の地域づくり」の様子を報告しながら、日本における持続可能な地域づくりに何が必要かを考えます。	大黒 太郎(行政政策学類准教授)	福島大学(福島市)	行政政策学類棟2階大会議室	6時間	平成29年6月24日(土)	教諭	中学校社会科教諭、高等学校地歴公民科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
49	【選択】憲法改正の理論的検討	憲法改正をめぐる諸問題について理論的に検討する。具体的には、①憲法改正の法的性格(憲法制定権と憲法改正権の関係など)、②憲法改正限界論と日本国憲法生誕の法理、③日本国憲法の改正手続きとそれに関する具体的な法的問題、の順に取り扱う。	阪本 尚文(行政政策学類准教授)	福島大学(福島市)	行政政策学類棟2階大会議室	6時間	平成29年7月23日(日)	教諭	中学校社会科教諭、高等学校地歴公民科教諭	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
50	【選択】学校の中のジェンダーを考える	学校は表面的には男女の平等を保障しているように見えますが、性差別を再生産する場ともなっています。1. 隠れたカリキュラム、2. ジェンダーへの気づき、3. 地域における男女共同参画推進拠点、4. テートDV、LGBTを考える、等をテーマに学校の中のジェンダー問題について考えます。教育におけるジェンダー問題への気づきと生徒へのジェンダー教育の必要性について理解を深めることをめざします。	千葉 悦子(行政政策学類教授)	男女共生センター(二本松市)	研修ホール	6時間	平成29年7月29日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校・中学校・高等学校教員	6,000円	70人	・筆記用具	無	講義・グループ討議・ワークショップ	筆記試験	特になし
51	【選択】高等学校における経済教育と経済学の接点	高等学校商業科科目「ビジネス経済」は経済学の入門的な内容となっている。しかしながら、これらの内容は従来、大学初年次の「経済学」の内容であったため、高等学校教員に経済教育のノウハウが十分形成されているとはいいがたい。そこで、大学における経済教育の実践例を紹介するとともに基礎的な経済理論の背景や現実社会における政策や企業の戦略への応用例を講義し、経済教育に関する相互理解を深めることを目標とする。	佐藤 英司(経済経営学類准教授)	福島大学(福島市)	M講義棟1階M2教室	6時間	平成29年9月30日(土)	教諭	高等学校商業科教諭向け	6,000円	30人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
52	【選択】簿記・会計とは何か	簿記・会計とは何かと質問されて、明快に答えられる人は多くないと思います。簿記・会計は多目的に応じて使われ多機能であるからです。 本講義では、簿記・会計の歴史的展開や、その時代時代のイメージ、現代における簿記・会計の論点を取り上げることで、簿記の多様な機能について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	衣川 修平(経済経営学類准教授)	福島大学(福島市)	M講義棟1階M1教室	6時間	平成29年7月8日(土)	教諭	高等学校商業科教諭向け	6,000円	50人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	特になし
53	【選択】健康相談活動論	子どもの健康問題の複雑化・多様化への対応について、具体的な事例を基に、その背景、対応のプロセスなどについて考察し、校内組織による実態把握、また家庭や地域、関係機関との連携について考える。中心テーマは、一般教諭による子どもの健康状態の把握法、養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした、健康相談活動について、構造的な理解と知識技術を身に付け、子どもの心の問題に気づく相談活動の実践力を高めることに目標をおく。	鈴木 ひろ子(人間発達文化学類特任教授)	福島大学(福島市)	共生システム理工学類後援募金記念棟会議室	12時間	平成29年8月1日(火) 平成29年8月2日(水)	教諭 養護教諭	教諭、養護教諭	12,000円	30人	・筆記用具	無	講義	筆記試験	主に養護教諭向け内容を中心として開講します

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習会場	実施教室	時間数	講習の期間	対象職種	主な受講対象者	受講料	受講人数	事前準備物	事前購入テキストの有無	講習の開講形態	試験の方法	その他 (事前に知っておいてほしい事項、参考テキスト等)
54	【選択】自然の魅力を学びに活かす保育技術	今日の福島県の生活環境や保育環境に対して、北欧諸国の実践例を紹介し、幼児期の自然体験活動の意義・必要性について理解を深める。また、実際のアクティビティ体験を通して、自然の中での「子どもの気づきや学び」「安全管理」についての理解を深め、戸外遊びや園外保育で活かせる保育技術の向上を図る。	柴田 卓(郡山女子大学短期大学部幼児教育学科講師)	福島大学 (福島市)	M講義棟 1階 M1教室	6時間	平成29年10月22日(日)	教諭	幼稚園教諭	6,000円	50人	・筆記用具 ・外で動ける服装と靴、帽子、雨具、必要に応じて虫よけスプレー等	無	講義・ワークショップ・屋外での実技	筆記試験	特になし
55	【選択】防災教育の理論と指導法	本講習では、まず防災教育の理論と次期学習指導要領における位置づけを押さえ、これまでの実践の検討などを行う。その上で、ハザードマップの読み取り等の技能や災害時の学校の対応、避難所の開設・運営などに関する基本的な方法を身につけられるようにする。	初澤 敏生(人間発達文化学類教授) 天野 和彦(うつくしふくしま未来支援センター特任准教授) 瀬戸 真之(うつくしふくしま未来支援センター特任准教授)	福島大学 (福島市)	総合教育研究センター棟 特別教室	6時間	平成29年7月22日(土)	教諭 養護教諭 栄養教諭	小学校・中学校・高等学校 教員	6,000円	100人	・筆記用具	無	講義を中心に、一部ワークショップ形式を取り入れる。	筆記試験	試験については、当日配布した資料類の持ち込みを可とする。

※同一内容の講習はどちらか一方のみ受講可能です。

※教室は決まり次第掲載します。

※一部の講習において、「その他」欄に試験時の資料持ち込みの可否について記載がありますが、記載のない講習については、講習当日に担当講師より説明があります。